

令和 8 年 1 月 31 日

令和 7 年度 北上ふるさと会 産業人会講演会 実施報告

令和 8 年 (2026 年) 1 月 30 日 (金) 18 時開演：法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー 26 階 (スカイホール・ラウンジ)

令和 8 年の幕開けを飾る「産業人会講演会」が、冬の澄み渡る都心のパノラマを一望する法政大学ボアソナード・タワー 26 階にて、厳かに、かつ盛大に挙行されました。北上市に浅からぬ縁を持つふるさと会会員をはじめ、法政大学関係者、そして首都圏で活躍する産業界の精鋭が一堂に会し、知の交流を深める貴重なひとときとなりました。

■ 第一部：講演会

演題：『人工知能の現状と展望』

定刻 18 時、北上ふるさと会・菊池幹事長の司会により、第一部の幕が上がりました。

冒頭主催者を代表して北上ふるさと会 渡邊嘉二郎 会長 (法政大学名誉教授) が登壇。渡邊会長は、挨拶の折、最新の AI (ChatGPT) を駆使したウィットに富んだ演出を披露し、会場は一気に知的好奇心と和やかな空気に包まれました。



渡邊会長

続くメイン講演では、AI 研究の泰斗である法政大学教授 伊藤一之氏 (前工学部長) を講師にお招きしました。



伊藤教授

【講演概要】 伊藤教授は、社会の根幹を搖り動かしている AI 技術の本質に迫り、「賢いとは何か」という根源的な問いから、実世界で機能する「フィジカル AI」の最前線に至るまで、豊富な研究事例を交えて解説されました。最先端の知見に触れた参加者は一様に深く感銘を受け、その研鑽を称える惜しみない拍手が会場に響き渡りました。

■ 第二部：情報交換会

19時、舞台を隣接する「ラウンジ」へと移し、親睦を目的とした情報交換会が催されました。



八重樫市長

本会には、北上市より八重樫浩文市長が駆けつけられ、同市の最新情勢と産業振興に懸ける熱きビジョンを語られました。また、近隣の縁として、在京花巻人会・畠山会長からも祝辞を頂戴しました。

共催の法政大学からは、田中豊理事をはじめ、副学長、各学部長、教授陣という錚々たる顔ぶれが出席。大学側の紹介に続き、松尾由香里副学長による乾杯の音頭で、交流の宴が始まりました。北上市の行政、大学の知、そして産業界の経験。それぞれの垣根を越え、名刺交換や意見交換が活発に行われる光景は、まさに新たな連携が芽吹く瞬間を予感させるものでした。参加者は用意された祝膳を囲みながら旧交を温め、郷里への想いと未来への展望を共有しました。

■ 結びに代えて

閉会に際し、北上ふるさと会熊谷副会長より次回の開催予定が令和8年（2026年）7月24日（金）と発表され最後に、「北上市と法政大学、そして会員諸氏の縁が、本日さらに強固なものとなった」との総括があり、最後は三本締めにて、再会を期して万雷の拍手の中に幕を閉じました。

菊池 潤、高橋正信、宮田 茂 記